

1-1通信 No. 4

Bright☆

啓新高校 1年1組

令和5年

5月18日発行

宇野雅之

中間考査終了！ここからが大事です。

中間考査の答案用紙が続々と返ってきていると思います。
高校に入って初めての定期考査、結果はどうでしょうか。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉があります。この言葉は、肥前国第9代平戸藩主、松浦静山のものだそうです。

勝負は時の運とはいうものの、ひとつだけはっきり言えることがあります。それは、「偶然に勝つ（＝良い結果を得る）ことはあっても、偶然に負ける（＝悪い結果を得る）ことはない」ということです。失敗や悪い結果の裏には、必ず原因、もっと言えば落ち度があるはずです。

勝った負けた（＝自分のとった点数）で一喜一憂して終わっていませんか。もちろん、点数が良かった科目を喜び、悪かった科目を悔しがったり落ち込んだりすることはあるでしょう。でも、それだけで終わっていないかを考えてほしいのです。

机に向かう時間の絶対量はどうだったのか、勉強の方法は効果があったのか、科目ごとの勉強時間の配分は適正だったのか、点数を落としたのは本当にケアレスミスに起因しているのか、それとも実は理解不足から来ているのか……。振り返りシートへの記入を通して、中間考査までの自身の取り組みをきちんと振り返ってほしいと思います。

7月は、期末考査の直後に県模試があります。先を見据えて、今からスタートを切りましょう！君たちに求められるのは、一つの結果から何を学び取り、いかに次につなげていくのか、という姿勢です。

今回、結果が良かったと感じている人。努力が報われた結果ならば、こんなにうれしいことはありません。ひとつ自分に自信がついたと思います。そんな自分をほめてあげてください。そして、得意科目という「武器」にできるようますます努力を重ねてください。くれぐれも、「これくらいでいいや」と油断したり、手を抜いて授業を受けたりすることがないように気をつけましょう。

中学校までの勉強のやり方が通用しないことは、皆さんも痛感したと思います。今回の「経験」を活かして、次に向けて、スタートを切ってもらいたいと願っています。一つ一つのテストを通して、お互いに高め合っていくチームとなることを期待しています！



コラム 日々の達成感だけがやる気のカギを掴む！

…万里の長城に学ぶモチベーション維持のコツとは？

皆さんにとって、受験勉強はまるで頂上が見えない山を登るような行為かもしれません。受験までの道のりはそれほど長く、険しいものです。時には登ることに疲れ、途中で投げ出したり、引き返したくなることだってあるかもしれません。

そこで、参考にしたいのが「万里の長城」の建築術です。万里の長城は、総延長1万2000キロにも及ぶ、人類史に残る壮大な建造物。中国の人々は、この一大事業をどのようにして成し遂げたのでしょうか。

まず、20名ずつの班をつくり、それぞれ500メートルの城壁を担当する。そしてふたつの班が一組となり、ちょうど真ん中で出会うように1000メートルの両端からつくっていく。そしてこの1000メートルが完成したら、はるか遠方の工区に送られ、また同じ作業につく、という方法だそうです。



つまり、すぐさま達成可能な「目に見えるゴール」を設定し、その目標を達成することで、やる気を促していることがわかります。そしてはるか遠方の工区でも、また「目に見えるゴール」に向かって励むという連続によって、最終的に万里の長城という壮大なゴールにたどり着くわけなのです。

大きな目標を達成しようと思うなら、自分で小さな目標（定期考査や小テスト、検定、問題集など）を設定し、それをひとつずつクリアしていきましょう。そして達成感という名のエネルギーを補充しましょう。それが自信にもつながっていきます。それを積み重ねていけば、これから30ヶ月続く長い旅路をきっと乗り越えることができるでしょう。

今後の予定

- 5月22日（月）オンライン授業
- 5月24日（水）特英テスト
- 5月26日（金）英語検定（一次）
- 5月29日（月）スポーツレクリエーション（第1体育館）
- 6月5日（月）漢字テスト
- 6月9日（金）漢字検定
- 6月13日（火）進学オリエンテーション（7限目）
- 6月16日（金）特数テスト
- 6月17日（土）県模試対策講座
- 6月21日（水）特英テスト